

第 24 号
流山市赤十字
奉仕団広報部
流山市平和台1-1-1
☎(7150) 6079 (直通)



道平立立仕一性
人公中独奉单世

赤十字七原則

人間を救うのは、人間だ。(Our world, Your move.) 赤十字国際標語

美原自治会防災訓練 大いに盛り上がる!

美原自治会

11月20日に美原1号公園を中心に行われた防災訓練は流山市赤十字奉仕団の皆様のご支援で充実したものでありました。

美原自治会としては久しぶりの大規模な訓練となり、避難訓練、本部設営訓練、安否確認訓練、炊き出し訓練、救急救護・サバイバル訓練に、ヘルメット姿などのたくさんの方が参加しました。

特に救急救護・サバイバル訓練では、「家庭の身近なものを活用したグッズ作り」を基に、3つのブースを順に回る形式で体験しました。「止血&骨折対応」ブースでは、大判ハンカチ、ストッキング、フリーペーパーを使用。「担架を作って搬送」では毛布、物干し。「スリッパ&リュック作り」では新聞紙、風呂敷を使用しました。参加者からは「身近にあるもので対応できる方法を知れた事が何より良かった。」との感想が多く寄せられました。

今後もこのような訓練を繰り返し実施し、いざという時に備えたいと思います。



流山市奉仕団と一緒に講習会を開きませんか?

流山市奉仕団では、自治会等地域の方々と共に救急法講習会を行っています。

講習テーマは、AEDを使った心肺蘇生法の訓練から、バンドナヤストッキングなどの身近にあるものを利用した手当ての仕方まで、主催者の方々のご要望に合わせて決めていきます。

パパ・ママのための 赤十字救急法スクール に参加して

松澤 明美

一昨年4月にお誘いを受け入団いたしました。献血運動、あざみ苑での奉仕活動に参加し、今回は、このパパママのための救急法スクールです。

幼児担当となりましたが、今年は江戸川大学総合福祉専門学校の学生さんのお手伝いを頂いたので、講習会を見学することができました。幼児の人形を使って、異物を飲み込んだ時の対処法や蘇生法を指導員から説明を受け、受講者は真剣に勉強していました。

成人の救急法は色々実施されています。幼児は初めてです。対処が違うので新鮮でした。大変意義のあるとても良い講習会でした。



平成28年度も依頼を受けて講習会を実施し、受講者からは「とても勉強になった」「今後も続けてほしい」など、嬉しい言葉をいただきました。

災害時、自助、共助の重要性が指摘されている昨今、万一の時に落ち着いて対応するために、このような講習会で繰り返し練習したいものです。お気軽にご相談ください。

参加者の声

成人への救命法との違いがよく分かり、子どもならではの注意点も習得、練習することができ、役に立ちました。指導員の方々、奉仕団の方々の細やかなアドバイスやフォローをいただけて理解が深まりました。ありがとうございます。

(市野谷在住 Iさん)

全てを覚えきることは難しかったですが、何も知らないよりは、思い出すことができると思っていますので、参加して良かったと思っています。けがの対処法がすぐに役立つそうです。本日はありがとうございました。

(市内在住 Oさん)

大人の救急法は受けたことがあったので、子供との違いを確認し、とても役立ちました。一回で忘れてしまわないように、機会があればまた参加したいと思います。

(鰯ヶ崎在住 Tさん)

献血の力で協力を お願いいたします!

献血とは、病気や手術等で輸血が必要な患者さんのために、健康な方が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

流山市赤十字奉仕団では、流山市役所や、おたかの森出張所、松戸市にある献血ルーム等にて、献血の呼びかけを行っています。ぜひご協力ください。



「赤十字のつどい」に参加して

加藤 恵美子

11月としては54年ぶりに初雪が降った翌日の25日にリフレッシュプラザ柏にて、千葉県赤十字奉仕団西部ブロック「赤十字のつどい」に参加してきました。午前中は、清水講師による「災害から命を守る為、今、自分たちができること」という演題で講演がありました。食糧、飲料など最低5日分ありますか?非常用持ち出しバッグの準備できていますか?ご家族同士の安否確認方法決まっていますか?避難経路確認してありますか?等々「備えあれば憂いなし」の精神で災害時の自助、共助の重要性をあらためて考えさせられた講演でした。次に手話による楽しいダンスがありました。午後からミニ運動会「災害時リレー」、「全身包帯」、「情報伝達ゲーム」がありました。7名に情報が伝わっていく間に情報に変化することの恐ろしさ、正しい情報を得ることの大切さを痛感しました。他団との和気あいあい、親睦を深めあった楽しい一日でした。

奉仕団員募集!!

流山市赤十字奉仕団員として、地域で活動してみませんか?

流山市奉仕団では、献血の呼びかけ、高齢者施設でのボランティア、地域での救急法講習会や炊き出し訓練、社資募集活動など、ボランティア活動を行っております。年齢、性別不問です。赤十字奉仕団に興味のある方は



市役所社会福祉課

(7150-6079)

までご連絡ください。

一日赤十字に参加して

小島 小夜子

晩秋の候、木枯らし一番吹くなか初めて一日赤十字に参加させて頂きました。11月15日に流山市文化会館に於いて開催されました。当日は、市民の方に参加していただき講習会を行いました。

午前はビデオ放映、赤十字の歴史と創立者アンリ・デュナンについて改めて学びました。また、赤十字奉仕団指導員による身近なものをを使った災害時のトイレ管理について、図式で説明がありました。

午後は、AEDを使って心肺蘇生法の訓練と高齢者疑似体験を行いました。全身に装具を身に付け、歩行、階段の昇降、豆を箸で一粒ずつ移すことなどを行い、日常生活が困難になることを身を持って実感しました。今後は身体の不自由な方が困っていたら、「大丈夫ですか」「お手伝いをお願いしますようか」と声をかけられるよう努力し、赤十字奉仕団の一員として活動ができるよう支援していきたいと思いをいたしました。



参加者の声

日本赤十字の歴史を長野県の紙芝居で興味深く紹介して頂き、知識を深めることが出来ました。また、2015年度の活動概要(VTR)では、災害ボランティアとの連携の紹介もあり、参考になりました。

ペルーマチュピチュ村との友好都市についても興味深く見ることが出来ました。安達太良山のふもとにある大玉村の地域活性化への取り組みは大したものですね。流山市も千葉県一の人口増加率を誇っていますが、地域の活動をもっと積極的に推進してはと思います。

アルファ米、大変美味しくいただくことが出来ました。我が家の防災食に加えます。

実技研修のAEDは何回かやっていますが、中々マスター出来ておりません。機会があるたびにこれからもやっていきます。また、疑似体験も貴重な体験でした。

(加在住 Kさん)

エルダートライは大変勉強になりました。AEDも講習を受けたことがあるのですが、知識の掘り起こしができて良かったです。皆様の活動の重要さがよく分かりました。子ども向けの講座なども今後ぜひ開催していただけたらと思います。

(南流山在住 Sさん)

市民まつりに参加して

西川 桂子

10月30日生涯学習センターで、盛大に流山市民まつりが開催されました。前日迄の秋晴れとうって変わって肌寒い曇り空でした。年々、参加団体も増え流山市民の楽しみな一大行事になっています。今年も流山市地区赤十字奉仕団は活動の一つ「災害時における炊き出し」の実演と試食配付・募金活動を行いました。

近年、想像もつかない地震や風水害など大きな自然災害が全国各地で発生しています。私たちが身近にどのような災害が起こるかかわらず、いざというときに家庭にある米・鯉節・醤油を使って「災害救護用包装食(ハイゼックス)」を昼食時に合わせて2回配付しました。毎回長蛇の列ができ、配付開始直後になくなる盛況でした。江戸川大学総合福祉専門学校の教師と学生が、私たちの奉仕団と一緒に参加してくださいました。



災害時の食の確保の大切さを痛感するとともに、若い世代のボランティア活動意識にも感動しながら、あらためて奉仕活動に身を引き締まる一日でした。

平成二十八年度 視察研修に参加して

山本 高子

今回は、東日本大震災・被災の地をメインに福島県の浜通りから中通りを目指して山あいを抜ける長距離でした。

一日目「東日本大震災を忘れまい」の精神で被災地相馬市を訪れました。市街地はだいぶ復興、再建が進み、その時を忘れさせるほどでしたが、市職員の案内で、まだ被害を受けたままという所を沢山見せつけられました。語り部の女性は「まさか我が家までは津波はこない」と油断していた矢先に身体は津波に呑まれ、その目の前で家族二人が津波に流されてしまったそうです。ご自身も数日間意識をなくしていましたが奇跡的に助けられたとのこと。その生かされた命を亡くなった人の供養のために使おうと決意し語り部を続けていますが、時として心のうずきを覚えて苦しみまします。

二日目、一昨年、ペルーのマチュピチュ村と「友好都市協定」を結んで話題を呼んだ福島県大玉村へ。そこで勿体なくも大玉村村長様から講演を受けました。この村出身の故野内与吉さんは大正6年に移民として、

ペルーに渡り苦勞を重ねながら村の発展に尽力して、推されて初代村長になり、マチュピチュ村を世界的な観光地に育てる礎を築いたそうです。いつのその場所でも他人のために、地域のために努力する人がいることを改めて気付かされました。

そして最後の目的地、赤十字災害救護発祥の記念碑が建つ五色沼へ。ここは明治21年に磐梯山が噴火し、多くの犠牲者を出しました。その時の救護活動が現在の平時災害救護活動の機縁になったという記念碑と慰霊碑に深く合掌してまいりました。二日目はあいにくの雨降りですが、少くも欲張りな行程だなぁ!と思っていたので、雨降りもまたよしの心境で内容の濃い視察旅行になりました。

「赤十字 救急法フェスタ」に参加して

龍田 進

10月13日、日本赤十字社千葉県支部主催の「赤十字救急法フェスタ2016」が千葉県総合スポーツセンター体育館で行われ、私は初めて参加しました。今年のスローガンは「わたしにも、あなたにもできる救急・応急手当」赤十字救急法90年」でした。

救急法コンテストにおいて、我が流山市地区奉仕団は「りんごクラブ」として出

場しました。我がチーム6名が全身包帯救急力を発揮しました。他に、各チームの代表による災害救護リレー、全員で赤十字についての〇×クイズに参加し、楽しく赤十字について学びました。参加86チーム中13チームまでが入賞でしたが、我がチームは惜しくも14位?。大健闘でした。



今後、このような講習会に参加し災害時・非常時に活用できるように取り組んでいきたいと思えます。とても参考になりました。



防災訓練に参加して

武田 久美子

8月28日、おおたかの森小学校、中学校で防災訓練が行われました。いつもは奉仕団員として、アルファ米の五目飯をつくり、参加者の方々に配布するのですが、今回は訓練を見学する機会に恵まれました。しかしながら、奉仕団の動きがとても気になりました。市内どこにいても参加できる「シェイクアウト訓練」、3つの安全行動「まずは低く」「頭を守り」「動かない」から始まりました。可愛らしい小型犬も救助犬として参加していました。目の前で行われた「トリアージ」はテキパキな動き。東日本大震災時トリアージされた看護師さんのインタビューを思い出しました。また、「お薬手帳」を持ち物に追加しました。災害が発生した時、自分や家族を守るため、防災に関心をもち、知識を身に付けたいと思いをいたしました。

平成28年度 奉仕団活動報告	
平成28年	5月4・5日 献血奉仕活動(おおたかの森出張所)
	5月10日 献血推進協議会
	5月27日 総会
	6月1日 「奉仕団だより」 発行
	6月1~30日 法人社資募集
	6月12・13日 視察研修旅行(相馬市・大玉村)
	6月22日 指導技術等研修会
	6月22日 献血奉仕活動(流山市役所)
	6月27日 幼児応急手当講習会(向小金児童センター)
	6月29日 幼児応急手当講習会(駒木台児童館)
	7月31日 パパママのための赤十字救急法スクール
	8月28日 流山市総合防災訓練
	9月16・17日 奉仕団リーダー研修会
	9月26日 献血奉仕活動(流山市役所)
	9月30日 幼児応急手当講習会(江戸川台児童センター)
	10月13日 救急法フェスタ
	10月14日 災害ボランティアリーダー養成講座
	10月30日 流山市民まつり
	11月15日 一日赤十字及び炊き出し講習会
	11月20日 美原自治会防災訓練 美原1号公園
	11月25・26日 レッドクロス・ボランティアスクール
	11月25日 西部ブロック「赤十字のつどい」
	11月28日 西深井小学校区防災委員会防災訓練
	12月8日 幼児応急手当講習会(赤城児童センター)
平成29年	2月20・21日 地域懇親会(全4回) 市内

※毎月第1・3・5木曜日 献血奉仕活動(松戸献血ルーム PURE)
※毎月第4水曜日(4月、5月第2・4水曜日) 高齢者支援活動(あざみ苑)